地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

第17号
平成29年
7月1日発行



p1　＃敬老園でよかった。
p2　チーム敬老園
p3～4　うえだみなみ乳児院
パイロットプロジェクト始動
p5～6　なるほど 敬老園の時事
p7　五感で味わう敬老園の食事

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

#敬老園でよかった ～永年勤続表彰～

毎年、年度末に開催される法人全体会議にて勤続10年、15年、20年、25年、30年の職員へ感謝の気持ちを込めて「永年勤続表彰」を行っております。今回は、10年表彰者64名、15年表彰者24名、20年表彰者1名、25年表彰者1名（表紙、写真）をみんなで祝福しました。表彰者には表彰状と目録（例：勤続10年 35,000円）が授与されます。平成29年度を迎え、敬老園で勤続10年以上の職員が350名を超えており、全体の3割以上となってまいりました。





永年勤続25年と聞きますと長かったのか、短かったのかと戸惑いますが、常に好きな仕事を行えることで長い間勤めてこられたと実感しております。平成3年9月1日ににしうち敬老園に入職し、措置の時代、介護保険の時代と関わって参りましたが、どれもこれも人生の中で宝物のように思い出として残っております。今は、人材不足など、いろいろな問題が起こっておりますが、これからも地域の方に信頼され、ご利用者様に安心安全なサービスの提供を行っていかなければならないと思っています。常にチームワークを忘れないよう、同じ釜の飯を食べる仲間として精進したいと思っています。理事長をはじめ役員の皆様、同僚の皆様に心より感謝申し上げお礼の言葉といたします。

#敬老園でよかった
～上田市男女共同参画推進事業者表彰～

平成29年3月10日（金）上田市役所において「男女が共に働きやすい環境が充実している事業者」として社会福祉法人敬老園が上田市男女共同参画推進事業者表彰を受賞いたしました。敬老園独自の「リフレッシュ休暇制度」や子育てをしながら安心して働ける「認定こども園キッズ・うえだみなみの運営」等、職員が働きやすい職場環境創りへの取り組みを評価していただきました。今後も「敬老園でよかった」と感じていただける職場環境創りを推進してまいります。





一所で一緒

チーム敬老園

平成29年4月に敬老園の男性職員で初めて長期育児休業を取得。介護の仕事を離れてみて感じていることを取材しました。

No.3

しものごう敬老園
ユニット型特別養護老人ホーム　介護職
山本　健一さん

学生の頃よりアルバイトや社会活動に関心を持ち、様々な経験を経て、平成18年にうえだ敬老園に介護職として入職。実務経験を積み介護福祉士、介護支援専門員を取得。現在は、しものごう敬老園のムードメーカーとして多くの職員に慕われています。

育児休業を取得しようと思ったきっかけは?

なかなか男性が育児休業を取得したいと言うのは勇気がいると思いますが、その後押しとなったのは何ですか。

育児休業の取得を考えれば考えるほど「仲間」への複雑な想いが廻りました。1つは、「自分の勤務を同僚がフォローしてくれることに対する申し訳ない気持ち」です。もう1つは、日本人男性の育児休暇取得率の低さから妻や両親も育児休業の取得に反対をしていたことです。

悩んでいる時に長期間の育児を経験したことのある男性職員から「今しかできないことだから。」と声をかけてもらい施設長や同僚に相談のうえ取得をさせていただきました。仲間は気持ちよく送り出してくれましたし、上司からは、月に1度の職員研修に参加するように配慮していただいていることで職員と話をする機会があり、ご利用者の様子も把握することができています。



育児休業を取得したことで感じることはありますか?

子供と向き合うことで「人と人が同じ時間を共有する」という共通点から改めて「介護は、命を預かるため手を抜けない。」と改めて実感しました。仕事に対して常にベストな体調で臨み、ご利用者の生活に優しい気持ちで寄り添うことができればと思っています。敬老園に就職して10年が過ぎますが、心身ともに新しい気持ちで復帰をしたいと考えています。

また、同僚にも育児に積極的な男性職員が多いので一緒に頑張りたいと思います。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

県内各地に、200を超える事業を展開しております。ご利用者年間延約150万人、職員約1200人

社会福祉法人
敬老園

[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp

■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／後藤・山口】

0120 FreeDial 0120-70-1651　8:30～17:30



うえだみなみ乳児院
平成29年4月パイロットプロジェクト始動!

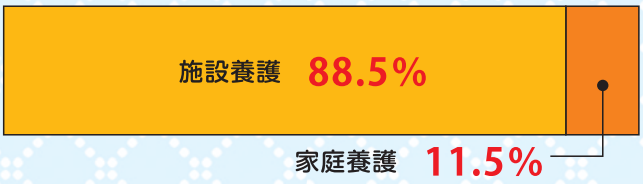
乳児院は、様々な理由により保護者の養育を受けられない乳幼児を養育する施設です。乳幼児の基本的な養育機能に加え、被虐待児・病児・障害児などに対応できる専門的養育機能を持ちます。長野県内に4ヶ所（定員57名）の乳児院があり、その1つに敬老園が運営するうえだみなみ乳児院（定員9名）があります。

昨年児童福祉法の改正があり、子どもの養育環境の優先順位が①家庭②家庭と同様の養育環境（家庭養護/里親、ファミリーホーム）③良好な家庭的環境（施設養護）の順に定められました。また、平成27年度より始まった国の家庭的養護推進計画は、現在社会的養護を必要とする児童の内約9割が施設養護ですが、これを15年かけて（平成41年度末）3分の1に減らしていく予定です。さらに、長野県における施設養護の入所率は低下傾向にあり、特に乳児院は平成28年4月より70%前後で推移しています。そして、現行の措置費制度（①入所実績により収入額が決定する②定員に対し職員配置が義務付け）による運営では、経営が立ち行かなくなる時が近い将来訪れることが予想されます。最後に一番重要なことは、権利の主体である子どもは安心できる特定の大人とともに暮らせる環境を求めているということです。

このように乳児院を取り巻く環境が厳しい状況の中、「子どもの最善の利益」とともに「健全経営」を追求するため、先を見据えた先駆的な取り組みとして立ち上げたのがうえだみなみ乳児院のパイロットプロジェクトです。

■長野県の社会的養護の状況

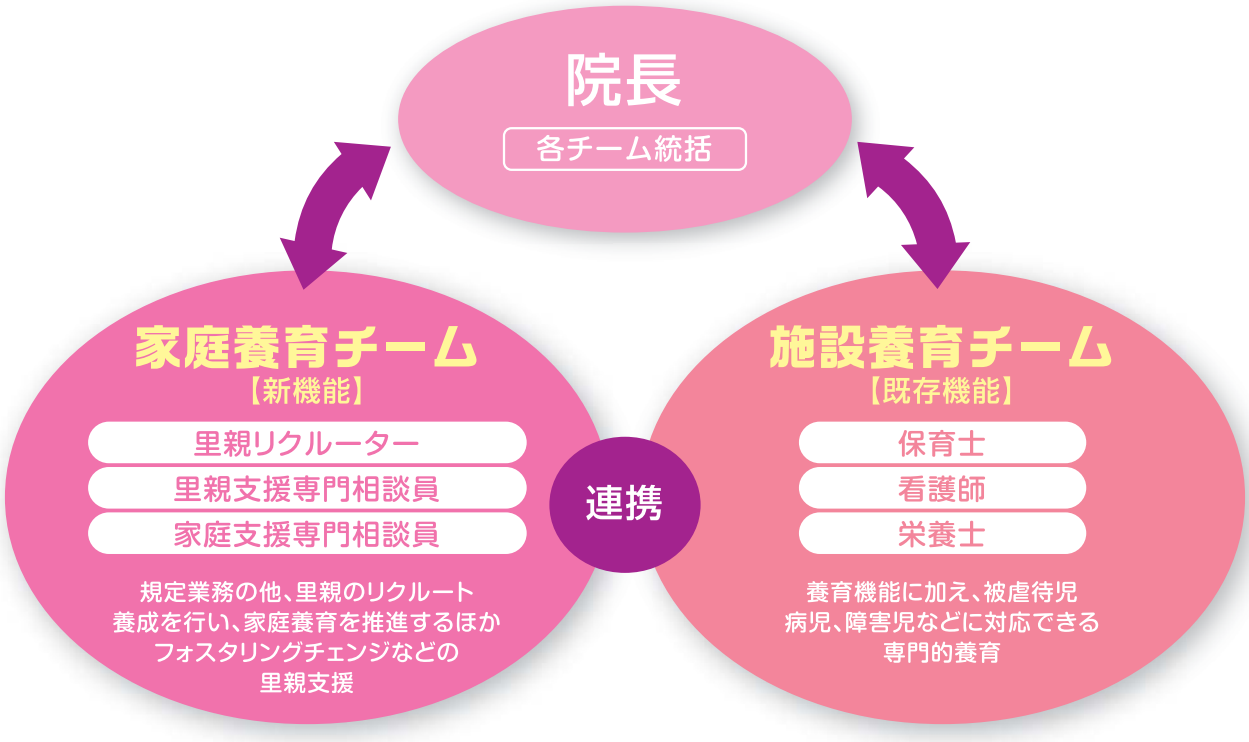
（H28.3.31現在）



■長野県家庭的養護推進計画 社会的養護の整備量目標

・平成27年度 乳児院定員…… 57名
・平成41年度 乳児院定員…… 46名

平成29年度 うえだみなみ乳児院組織体制



施設から家庭の暮らしへ
家庭養育チームとは?

家庭支援専門相談員

私の仕事は、早期の家庭復帰に向けた支援です。入所から退所までを、児童相談所をはじめとする関係機関との調整を図りながら、親子関係形成の援助を行います。家庭養育チームでは、家庭支援専門相談員の業務を行いながら里親支援専門相談員と共に里親支援、特に里親養育の質の向上を図るためのファシリテーターとしての役割と、里親登録までのソーシャルワーカーとしての業務を担います。



里親支援専門相談員

私の仕事は、児童相談所と連携し、里親の新規開拓・里親制度の広報啓発活動、施設入所児童の里親委託への推進・アフターケア相談、里親への研修、里親家庭への継続的支援(家庭訪問・相談)、里親会等への参加をすることです。

里親リクルーター

私の仕事は、様々な場所へ里親募集のチラシ配布やイベントの企画・主催等の広報活動を通して、里親に興味を持って下さる方を探す事です。少しでも里親に興味を持ってもらえるように、活動の幅を広げていきたいと思っています。



●お問い合わせ

うえだみなみ乳児院
〒386-0018 長野県上田市常田1-4-12
電話 0268-28-1192
メール kateiyougo@keiroen.or.jp
WEB http://www.keiroen.or.jp

うえだみなみ乳児院は長野県の里親支援機関として認定されています。(担当:県民文化部 こども・家庭課)

時事 その 1

EPA介護福祉士候補者の受入 いよいよ

◎うえだ敬老園 上田市中央3-14-5



平成29年度 社会福祉法人敬老園の基本方針・目標の1つとして「EPA（経済連携協定）等の外国人の受入及び教育体制の構築」を掲げています。昨年度からベトナム人の受入のため、ベトナムに職員が出向き説明会やマッチング等の手続きを進めてきました。いよいよ8月にベトナム人2名をうえだ敬老園にて受け入れます。

平成21年にインドネシアとのEPAによる介護福祉士候補生2名を受け入れました。風土や生活習慣の違い、言葉の壁など様々な障害を乗り越えて、2名ともが介護福祉士の試験にみごと1回で合格することができました。

この経験を通じて私たちも教えられたことがたくさんありました。教えることの難しさに日々悩みながらも諦めずにできる限りの時間を一緒に過ごしました。費用負担も含めて敬老園だからこそ成し遂げられたと思います。



◎平成21年受入時

OPEN CAMPUS

第1回 6/17（土） 【時間】AM9:30～	第2回 7/8（土） 【時間】AM9:30～	第3回 7/29（土） 【時間】AM9:30～
第4回 8/9（水） 【時間】AM9:30～	第5回 8/26（土） 【時間】AM9:30～	第6回 9/23（土） 【時間】AM9:30～
第7回 10/14（土） 【時間】AM9:30～	第8回 2018 2/10（土） 【時間】AM9:30～	



詳しいお問い合わせは
下記よりお気軽にどうぞ。
また事前予約も下記よりどうぞ。

TEL.0268-27-8341
FAX.0268-28-0180

上田福祉敬愛学院 ウェブ検索

※当日参加を希望される方もお気軽にどうぞ。



オープンキャンパス内容 ※日によっては他のイベントもご用意

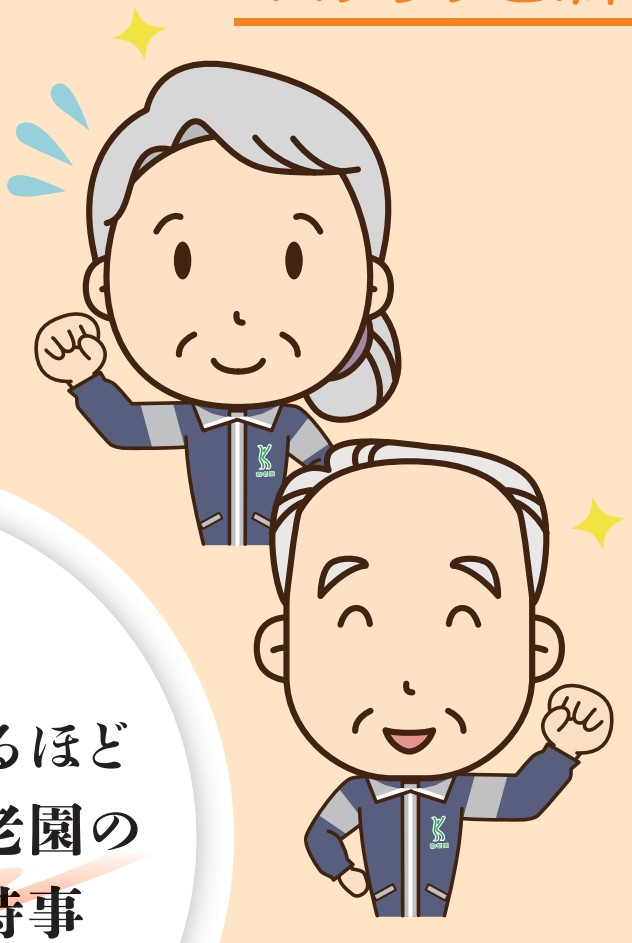
①校舎見学会
②学校説明会
③模擬体験授業
④個別相談会
⑤在校生からの情報あれこれ
⑥敬老園施設の見学ツアー

只今、学生募集中！

只今、2018年度の入学生を募集しています。
詳しくは上記までご連絡ください。

なるほど 敬老園の 時事

ハツラツと!輝くベテラン職員



日本の定年退職は、55歳でした。1980年代以降は60歳まで引き上がっています。還暦というと長生きのお祝いとして「赤いちゃんちゃんこ」を連想されるかと思います。厚生労働省が発表している日本人の平均寿命が男性80.75歳、女性86.99 歳の今日では60歳というと高齢者に入らないような気がします。

また、2015年の国勢調査によると長野県内65歳以上の就業率は28.7%で全国第一位となっており「信州人は年を取っても働き者」という内容の記事が新聞に掲載されていました。ちなみに女性就業者の産業別割合として「医療・福祉」が21.0%で最多となっています。

平成29年度に入り、60歳以上の職員が160名を超えてまいりました。円熟味を増したベテラン職員が若手の職員のフレッシュさと融合し、安心したサービス提供を演出しています。

時事 その2

人を感じて 人に優しく 寄り添うロボット



信州大学繊維学部 橋本・塚原研究室が研究・開発されている「世界初!穿くロボットcurara(クララ)」のプロジェクトに参加させていただいております。人のわずかな動きを感知し、それに合わせてロボットが動く仕組みです。4月12日(水)しおがわ敬老園にて関係スタッフが集まり研究協力をしました。



時事 その3

季節を感じる美味しい食事

うつくしがはら温泉敬老園
松本市大字里山辺67-1



新緑がまぶしいこの時期、摘みたての春芽よもぎで利用者様と一緒によもぎ餅をつくりました。季節感たっぷりのお餅をつくり、温かいお茶をいただきながら、ほっこりとしたひと時を皆なで過ごしたい!と思い準備しました。

お餅の生地は、粉色をいかした白色とよもぎを練りこんだみどり色の2種類を用意しました。あんこは、あずきあんとしろあんと桜色のももいろあんの3種類です。お茶も少し奮発して4月に摘んだ一番茶を用意しました。

利用者の皆さんにお好きな生地とあんを選んで包んでいただきました。美味しそうに召し上がる笑顔をたくさん見せていただきました。よもぎは「ハーブの女王」と呼ばれるほど、その効能は絶大で万能薬とも言われる薬草です。美味しいものを食べて、たくさん笑ってずっとずっとお元気でいてくださいね。

うつくしがはら温泉敬老園
調理職 副主任　道家　康也



楽食 がくしょく

安心して楽しくおいしい食事を
お召し上がりいただけます。

バリアフリーレストラン楽食
上田市常磐城2256-1 敬老園本部1階
■ご予約・お問い合わせ先
☎0268-28-0141（おいしい）

